

平成 22 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 木 田 隆 文

最終学歴	龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程日本語日本文学専攻 修了	
取得学位	博士（文学）	
所属学会	日本近代文学会 昭和文学会 日本文学協会 仏教文学会	
専門分野	日本近代文学 特に武田泰淳を中心とする昭和期の文学	
研究課題	武田泰淳を中心とする昭和期の文学／日本統治下上海における文学と文化	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語・文学（六）〔通年〕</li> <li>・演習Ⅰ（八）〔通年〕</li> <li>・卒業論文〔集中〕</li> <li>・現代芸術論〔後期〕</li> <li>・世界遺産学概論Ⅰ〔前期〕</li> <li>・国文学講読（八）〔通年〕</li> <li>・演習Ⅱ（七）〔通年〕</li> <li>・映像文化論〔前期〕</li> <li>・現代文化論Ⅱ〔後期〕</li> <li>・奈良文化論Ⅱ〔後期〕</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武田泰淳の未発表原稿「中秋節の頃（上）」を発見。日本近代文学会パネル発表席上にて報告（10月24日）。</li> <li>・中国上海市での文献調査を実施（2011年3月12日～16日）</li> </ul>	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国文学科学生とともに文学散歩や野外活動に参加した。</li> <li>・博物館展示担当の関連から「博物館実習（一）」「実地踏査」などの授業で臨時に講義を行う。</li> <li>・近代文学研究会顧問として夏合宿に参加。研究発表や論文指導を行う。</li> </ul>	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国文学研究資料館 国文学文献資料調査員</li> <li>・よみうり梅田文化センター講師：「司馬遼太郎の名作を読む」（7月25日）「司馬遼太郎の『街道をゆく』からアジアを読み解く」（10月17日）を担当。</li> <li>・大阪府立みどり清朋高校にて文学系の模擬授業を担当（2011年1月27日）</li> </ul>	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学部教務委員</li> <li>・博物館実習検討委員会委員</li> <li>・教職課程専門部会委員</li> <li>・広報室アドバイザー</li> <li>・ホームページ委員会委員</li> <li>・就職委員会委員</li> <li>・セクシュアルハラスメント防止相談員委員</li> <li>・産学連携委員会委員</li> <li>・近代文学研究会顧問</li> <li>・合唱団顧問（代行・半期のみ）</li> <li>・2010年度前期奈良大学博物館展示担当</li> <li>・国文学科冊子「奈良大学の国文学」など広報冊子の編集発行。</li> </ul>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ①消された書物—日本近現代出版の一側面 展示目録・解説 ② ③ ④ ⑤	共著	2010年6月	奈良大学博物館	奈良大学博物館平成22年度前期展示のパンフレット
(学術論文) ①武田泰淳の上海体験—現地日本語媒体とのかかわりから ② ③ ④ ⑤	単著	2011年3月	『奈良大学紀要』第39号	作家・武田泰淳の上海時代の動向を、戦時下上海で発行された日本語新聞などから確認したもの。
(学会発表) ①上海文学界における武田泰淳の位置—「中秋節の頃(上)」が示すこと ② ③ ④ ⑤		2010年10月24日	日本近代文学会2010年度秋季大会(於・三重大学)	パネル発表「『上海文学』のポテンシャルエネルギー — 日本統治下の上海文学界を考える」において、報告者の一人として発表したもの。新資料紹介を踏まえつつ、戦時末期上海における武田泰淳の言説的位置を確認した。
(その他) ①「2009年度春季大会印象記」 ②「書評 外村彰『念ふ鳥 詩人高祖保』」 ③ ④ ⑤	単著  単著	2010年8月30日  2010年12月	日本近代文学会関西支部「会報」第14号  『論究日本文学』第93号 立命館大学日本文学会	標記大会の研究発表に対する印象記。  標記著書に対する書評。